



9月定例会の概要

審議日程

9/13	(開会)	
	本会議	・議案上程、提案理由説明
14~17	(議案研究)	
18	本会議	・質疑、決算特別委員会設置 ・一般質問
19、20	本会議	・一般質問
21	本会議	・一般質問
	決算特別委員会	・議案審査
25~28 10/1、3	決算特別委員会	・議案審査
10/4	本会議	・決算特別委員長報告、討論、採決
5	常任委員会	・議案審査
8	常任委員会	・議案審査 ・請願・陳情審査
9	本会議	・常任委員長報告、討論、採決 ・議員提出議案上程、提案理由説明、討論、採決 ・請願・陳情採決
	(閉会)	

平成元年度決算を認定

平成二年九月北九州市議会定例会は、九月十三日から十月九日までの二十七日間の会期で開かれました。市長から提出された議案は、平成元年度決算二十四件、平成二年度補正予算八件、条例五件、その他十七件の合計五十四件です。

審査の結果、決算を認定し、その他の議案をすべて可決しました。一方、議員から提出された議案は十三件で、そのうち十件を可決しました。

都市緑化フェア開催準備経費など

大型補正予算^{総額}181億円を可決

平成元年度各会計決算を認定

9月定例会

9月定例会では、平成元年度北九州市決算を認定したほか、平成3年秋に開催される全国都市緑化北九州フェアの開催準備経費、学校や市営住宅などの内・外壁はく落防止の調査補修経費、アジア女性交流・研究フォーラム設立準備経費など、総額181億円の補正予算を可決しました。

なお、決まった主なものは、次のとおりです。



(仮称)緑化センター完成予想図

◎平成2年度補正予算
一般会計
一、二六億六、〇一五万円

区分	一般会計	特別会計 (国保など18会計)
歳入 ④	4,155億6,041万円	3,164億9,522万円
歳出 ⑤	4,108億6,712万円	3,069億4,755万円
形式収支 ④-⑤=⑥	46億9,329万円	95億4,767万円
繰り越すべき 繰上り財源 ⑦	25億8,218万円	9,493万円
実収支 ⑥-⑦=⑧	21億1,111万円	94億5,274万円

区分	企業会計 (上水道など5会計)
収入 ④	987億8,896万円
支出 ⑤	1,093億5,777万円
形式収支 ④-⑤=⑥	△105億6,881万円
補てん財源等⑦	109億6,215万円
単年度実質収支 ⑥+⑦=⑧	3億9,334万円

◎平成元年度決算

市長から提出された 主なもの



- 特別会計
五三億四、一一二万円
- 企業会計
一億 二七六万円
- 総額
一八一億 四〇三万円
- ◎条例の制定
北九州市港湾整備事業基金
条例
港湾整備事業を円滑かつ効率的に推進するための基金を設置
- ◎条例の一部改正
北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例
戸畑市民会館に音楽練習室を新設
- ◎工事請負契約の締結
(一)は契約金額
粗大ごみ処理施設破砕設備建設工事
(二六億三、七七〇万円)
新門司港大里線新鹿喰トンネル工事
(六億九、五二五万円)
仮称緑化センター新築工事
(九億六、三〇五万円)
- ◎土地の取得
戸畑区大字中原及び中原東四丁目に所在する土地を産業支援団地整備事業用地及び市道改良事業用地とし

議員提出議案 (可決されたもの)

- 〈意見書〉
- ・ コメの輸入自由化反対、水田農業確立に関する意見書
 - ・ 失業対策諸事業の継続実施を求める意見書
 - ・ 国庫補助負担率の還元を求める意見書
 - ・ 石油製品等の便乗値上げ防止に関する意見書
 - ・ パートタイム労働者に対する減税等を求める意見書
 - ・ 造血機能障害者対策の充実に関する意見書
白血病・再生不良性貧血病患者など、造血機能障害者のための骨髄バンクの設立等を要請するもの
 - ・ 公立学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担制度の堅持及び教職員定数改善計画の目標年次内達成を求める意見書
 - ・ 道路整備関係予算の拡大を求める意見書
 - ・ 公共投資基本計画の実施に関する意見書
社会資本整備促進のため、事業の地方への配分と財源の確保等を要請するもの
*これらの意見書は、関係行政庁に送付します。
- 〈決議〉
- ・ 小倉都心部活性化のための幹線一方通行規制の解除を求める決議

- て買入れる。
・ 面積 一万八、三二九㎡
・ 予定金額七億五、六六〇万円
- 請願・陳情
(採択されたもの)
- 請願第四十八号 失業対策諸事業の継続、改善に関する意見書提出について のうち
・ 失業者就労事業、炭鉱離職者緊急就労対策事業、産炭地域開発就労事業、特定地域開発就労事業を引き続き存続、活用すること。
- 請願第五十二号 米の市場開放阻止に関する意見書提出について
陳情第四十四号 通学路の整備について のうち
・ 通学路(北方二号線)の整備及びガードレールの設置

- 九月定例会において、次のかたがたの推薦または委嘱に同意しました。(敬称略)
- 人権擁護委員候補者
麻生 暁海 椿 チエ
北九州市農業共済損害評価会委員
- | | |
|-------|-------|
| 井上 祝雄 | 奥 康雄 |
| 松嶋 正則 | 八木田敬吾 |
| 木村 憲治 | 奥村 壤一 |
| 河内 一彦 | 黒水 文夫 |
| 坂井 恒夫 | 先本 清己 |
| 柴山 登城 | 新川 幸雄 |
| 大庭 卓朗 | 平安 龍男 |
| 松井 弘美 | 山本 久美 |
| 中村 博年 | 岩崎 孝輔 |
| 香月徳一郎 | 敷田 徳光 |

人事紹介

質疑応答

本会議で、十八人の議員が、議案や市政全般について、質問を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。



決算をめくって

財政運営の見通しは

議員 本市の平成元年度決算をみると、一般会計の収支は昭和四十二年以来黒字基調が続いています。また、市の借金の支払いに充てられる公債費の比率も改善の方向にあり、財政の健全化は一段と進んでいると思います。

そこで、今後の財政運営の見通しはどのようになっていますか。

人工島の建設を

▼コンテナターミナルの整備▲

議員 近年、外国貿易におけるコンテナ化は急速に進展しており、太刀浦ターミナルの取扱能力を超える時期も早いと考えます。

そこで、ルネッサンス構想で提案されている沖合人工島方式による新しいコンテナターミナルの計画を進めるべきだと思いますがいかがですか。

るのかお尋ねします。

港務局長 今後の財政見通し

については、歳出面では高齢化の進展に伴う年長者福祉対策や都市再開発、交通体系の整備などの財政需要が予想されます。一方、歳入面では人口減少により市税や地方交付税等の伸びが大きく期待できない状況にあります。

このため、今後の財政運営に当たっては、地域経済の活性化を推進し税源のかん養を図るとともに、国や県の資金の積極的な活用、使用料、手

港務局長 現在の太刀浦・

田野浦のコンテナターミナルの貨物取扱量は、平成七年頃にはその能力を超えるものとして予想しています。

こうした状況に加え、コンテナ船の大型化に対応していくためには、大水深の岸壁を持ったコンテナターミナルの整備を早急に進めることがぜひとも必要です。

そこで、新しいコンテナターミナルの整備については、関門国際航路に近接している

数料の適時適切な改定など財源確保に向けた地道な努力が必要と考えています。

また、歳出面においても、事務の簡素化、効率化を推進するとともに、事業の熟度や重要性を考慮して予算配分に優先順位をつけるなど財源の効率的な活用を行い、財政の健全化に努めていきます。

不用額が生じた理由は

議員 歳出決算をみると、多額の不用額が出ていますが、その理由をお聞かせ下さい。

財政局長 不用額が生じた理由は、たとえば、扶助費、予防接種、退職手当等の対象人員が見込みより少なかったこと、地方債の利子など経済情勢の変動に起因するもの、用地購入の交渉が難航し執行できなかったもの、建設事業等の入札残や光熱水費等経費

ことや既存のコンテナターミナルとの一体的な管理運営ができることなどから、周防灘地区への立地を考えており、新門司埠頭と太刀浦埠頭のほぼ中間の海上に、人工島方式による整備を検討しています。この人工島には、コンテナターミナルのほか、レクリエーション機能や業務機能等を備えた複合的なものにしていくと考えており、新しい港湾計画の中で明確に位置付けたと思っています。



の節減などがあげられます。

予算執行上、ある程度の不用額が生じることはやむを得ないと考えますが、多額の不用額を出すことは好ましいことではないので、今後とも予算の適正な計上と円滑な執行に努めていきたいと思っています。

小倉都心部の

一方通行規制の解除は

議員 現在、北九州都市圏交通体系整備推進協議会において、小倉都心部の一方通行の規制解除及び路面電車の存廃問題が論議されています。

市は、この問題について、協議会に対しどのような考えを述べるのですか。また、仮に路面電車を廃止した場合の交通対策として、トランジットモール導入について研究するため、プロジェクトチームを設置すべきだと

思いすがいかがですか。

市長 現在、北九州都市圏交通体系整備推進協議会において、北九州都市圏の交通体系のあり方について協議が行われています。一方通行規制解除の条件の一つとなっている路面電車の扱いについては、年内にも結論が出されるよう働きかけているところです。

これまでの市議会の特別委員会での議論や市民アンケートの結果を踏まえると、小倉都心部活性化のためには、一方通行規制の解除は必要と考えています。

また、一方通行規制解除の時期については、中の橋の拡幅整備が完成する平成三年度末が目途になると思われます。なお、トランジットモールの導入については、事業主体や一般交通の制限など多くの検討課題がありますが、導入の可能性を検討するため、プロジェクトチームを設置したいと思っています。

ランプの新設と

回数券割引率の継続を

▼都市高速道路▲

議員 北九州都市高速道路と北九州道路等の一体化は、都市高速道路公社の経営改善の切り札として大きな期待を寄せています。

そこで、より一層の利用者サービスの向上を図るため、

意見書

決議



意見書は、市政や市民生活の利益に関する事柄など市の公益に関する事件について、国や県等に対し、市議会の意見や要望を伝え、必要な措置を要請するものです。

一方、決議は、市議会の意思表明という点では意見書と同じですが、意見書が法律で定められたものであるのに対し、決議は一般的に法律に基づくものではありません。これらは、いずれも市議会の議決が必要です。

都市高速道路に新たなランプを設ける考えはありませんか。また、現在、都市高速道路において実施されている回数券の割引率は、一体化後はどのようなになるのですか。

都市計画局長 一体化後、均一料金制となるメリットを生かして、現在の北九州道路等の距離の長いランプ区間に、新たにランプを設置することを検討したいと考えています。なお、一体化後の回数券の割引率については、道路公社よりも有利な現行割引率をそのまま継続するよう都市高速道路公社で検討をしています。

マイタウン・マイリバー 事業の整備計画は

▼紫川▲

議員 先般、全国に先がけて、紫川マイタウン・マイリバー整備計画が、建設省の認定を受けました。

そこで、この事業の対象区域やJR小倉駅周辺における開発事業との関連性等についてお尋ねします。

また、小倉北区役所は、この事業の中でどのように位置付けられているのですか。

市長 この事業は、建設省の認定を受けたことにより、事業費が優先的に確保され、計画的に事業が進められることになりました。



今後、この事業とJR小倉駅周辺の開発事業との整合性を図り、それぞれ地域の特色を生かしながら、整備を進めていきたいと思えます。

プロサッカーチームを 誘致しては



市長 日本サッカー協会では、平成四年の秋を目標に、八〜十チーム程度、フランチヤイズ制によるプロチームの発足を計画していると伺っています。

議員 サッカーは、女性や少年達に大変人気があり、日本でも、プロサッカーチーム設立の準備が進められていると聞いています。

本市が、少年の夢を育て、若者が集まり、文化の薫る活気あふれる街づくりを推進す

建設局長 この事業の区域は、JR鹿兒島本線鉄橋から国道三号の貴船橋までの約二km(約百七十ha)です。当面事業を実施する区域は、JR線鉄橋から(仮称)中島橋までの約一・一km(約九十二ha)を計画しています。

事業の実施に当たっては、公共事業を優先させ、民間の投資意欲を高め、開発を誘導していきたいと思えます。

市民局長 小倉北区役所用地は、この事業のなかでも都心の核となる場所に位置した貴重な公有地で、重点的に整備を行う地区として位置付けています。

現在、区役所の移転の可能性や移転した場合の跡地の活用方法等について予備調査を行っており、この結果を待つて、区役所の移転に関して市議会や関係住民とも十分相談していく考えです。

誘致については、他都市の動きや関係企業の状況など確かめなければならぬ点が多くあります。

日本サッカー協会等関係協会等を通じ、いろいろな情報を集め、皆様のご意見を賜りながら、検討していきたいと思えます。

また、この十月六日、北九州国際会議場がオープンしますが、旅券発給事務所を設置

イベント開催の 成果は

議員 本市では、市の活性化やイメージアップのため、多くのイベントが開催されています。

そこで、昨年の主な開催状況の成果や今後の課題についてお尋ねします。

また、この十月六日、北九州国際会議場がオープンしますが、旅券発給事務所を設置

議員 平成四年には、地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律が期限切れを迎え、また、市の同和対策実施計画も平成三年度で終了します。

今後の見通しは

▼同和行政▲

議員 平成四年には、地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律が期限切れを迎え、また、市の同和対策実施計画も平成三年度で終了します。

そこで、これまでの事業実績に対する評価と今後の見通しについてお尋ねします。

市長 本市では、同和対策

西部地域にも 夜間・休日急患センターを

議員 八幡西区の西部から若松区にかけての人口増加が続いており、また、将来、学術・研究都市整備構想が推進されることを考えると、この地域における救急体制の整備は緊急な課題と思えます。

そこで、夜間・休日急患センターを市内の西部地域にも設置する考えはありませんか。

市長 夜間・休日急患センターの増設は、西部地域の多くの市民の強い要望でもあります。

現在、北九州市保健医療総

事業特別措置法の施行以来、北九州市同和対策総合計画や北九州市同和対策実施計画などに基いて計画的に実施しており、全力で取り組んでいるところと見えます。

民生局長 これまで同和対策事業を実施してきた結果、同和地区の道路、住宅等の生活環境は大きく改善されたと考えています。なお、生活環境改善に関する事業については、計画期間内におおむね完了できると思っています。

一方、教育、啓発、雇用等については、一定の成果はみられるものの、いまだ十分とは言えない状況にあり、今後なお一層の取り組みを続ける必要があると考えています。

合検討委員会、救急医療体制のあり方について、検討が行われています。この結論を得て、救急医療体制充実のための施策として進めていきたいと考えています。



平尾台センターを 整備・充実しては



と聞いています。

そこで、平尾台に接する機会や環境づくりを積極的に推進するため、平尾台センターを魅力ある施設に整備する考えはありませんか。

また、平尾台は、千仏鍾乳洞などとともに重要な天然記念物となっています。自然を守るため、計画的に公有化を進めるべきだと思いますがいかがですか。

市長 平尾台は、各方面からの関心も高く、平尾台全体の将来計画を明確にする時期に来ていると思います。

議員 平尾台は、県道直方行橋線の開通によって、より身近なものになりました。しかし、市が管理する平尾台センターは、老朽化が激しく、その利用度は極めて低い

石炭鉱害 対策は

議員 本市における石炭鉱害による影響地域は、広範囲にわたっています。

平成四年には、臨時石炭鉱害復旧法の期限切れを迎えましたが、市は、鉱害対策をどのように考えていますか。

経済局長 平成二年三月末現在の本市の残存鉱害量は、推定約九十九億円となっています。

道路・河川等の公共施設については、平成四年七月の法

を描いていきたいと思いを

経済局長 平尾台センターは十分な活用が図られているとは言い難い面もあり、施設の充実が必要と受けとめています。

県の保護管理計画では、平尾台センターを平尾台における環境教育の拠点として施設を充実し、管理事務所を兼ねた、利用者のための総合的な施設として整備していくとの方向が示されており、今後この計画を踏まえ、県等と具体的に検討していく考えです。

教育長 天然記念物の保存の見地から、文化財保護法に基づいて土地の公有地化を進めており、国、県に予算の増額を要望しています。これを機に、自然公園法による事業としての特定民有地買上げ制度による公有地と国定公園整備を一層強く要望していきたいと思っています。

環境分野での 国際協力の推進を

議員 本市は、今年六月五日の世界環境デーに環境公害分野において優れた業績を残した個人または団体に對して贈られる国連環境計画の「グローバル500」を受賞しました。そして、昨年から今年にかけて、環境問題に関する国際シンポジウム等を企画、開催するなど大きな成果を上げています。

このような実績を踏まえ、本市が環境技術面での国際協力をさらに推進するため、今後、環境行政をどのように進めていくのかお尋ねします。

市長 「グローバル500」の受賞を契機として、環境の国際協力という面から、今後市がどのように取り組んでいくのか考える必要があります。

陣原・則松地区の 地域開発は

議員 八幡西区則松の瀬板貯水池周辺は、市街地に囲まれた緑豊かな地域で、その土地利用については、地元でも非常に関心を持っています。

この地域は、建設省の来年度概算要求において、地域創生総合都市開発事業のアイテア都市の調査地区に盛り込ま

れたと聞いています。今後、どのような地域開発やまちづくりを進めていくのですか。

また、この地域は、大部分が市街化調整区域になっていますが、その対応についてもお尋ねします。

都市計画局長 この地域は市街地に位置し、開発への非常に大きな可能性を持っています。

そこで、土地利用の転換については、地区の特色を生かす。

そこで、従来の国際研修に加え、地球環境に関する問題やアジア諸国の都市との情報ネットワークの構築等を検討するため、環境分野では世界的に著名な橋本道夫先生を委員長とする環境国際協力検討委員会を設け(※十月四日発足)、その基本構想を策定したいと思っています。

市街化調整区域の 下水道整備を

議員 本市の下水道普及率は、元年度末で八十八%に達しましたが、市街化調整区域は、依然整備が遅れています。

そこで、調整区域内の下水道整備方針についてお尋ねします。

また、これまで敷設した下水道管を適正に管理するため、市はどのように取り組んでいくと考えています。

市長 本市には、元年度末までに三千kmの下水道管が敷設されています。

この中には、耐用年数に達したもののや地盤変動、材質劣化により機能に障害を生じたものもみられます。

これらは、一部補修等によって対応していますが、今後老朽化による機能低下、損傷箇所については計画的に対応していくと考えています。

市長 本市の下水道整備は、二年度末には普及率九十%に達する見込みです。

市街化区域での整備はおおむね完了しつつあり、今後は調整区域への取り組みの時期に入ると思っています。

来年度から、新しい下水道整備五箇年計画が始まりますので、調整区域の集落地域を中心に計画を決めていきたいと考えています。

下水道局長 本市には、元年度末までに三千kmの下水道管が敷設されています。

この中には、耐用年数に達したもののや地盤変動、材質劣化により機能に障害を生じたものもみられます。

人口の減少に 歯止めを

議員 今年八月、北九州市の人口が百三万人を割り、大きなショックを受けています。人口を定着させるためには、住宅や福祉・教育施策を充実

再資源化の推進と 環境教育の充実を ▶ ゴミ対策 ◀



議員 ゴミ対策を進めるに当たっては、処理・処分にとどまらず、減量化・再資源化に重点をおいて取り組む必要があると思います。

そこで、住民の協力を得て、市が中心になって、分別収集に積極的に取り組んでほしいか

また、環境保全意識を高めるため、子供に対する環境教育の推進が必要と考えますが、市の考えをお尋ねします。

市長 本市は、これまで、ゴミ収集方法について、いろいろ検討した結果、他都市に比べ、焼却能力が大きく、また処分場も確保できるといことから、分別収集ではなく一括収集を行っています。

させ、高校、大学の卒業生が本市に定着できる状況を一日も早くつくる必要があります。人口問題に対する市の考えをお聞かせ下さい。

市長 人口を定着させるためには、雇用の場の確保や住環境の整備等総合的な施策が必要で、そのため、ルネッ

また、資源回収の面からみると、本市では、ゴミを出る前に住民団体が新聞やビンなどを回収する、いわゆる集団資源回収を実施しています。これらの集団資源回収は、

分別収集と同様の効果をあげており、市も、この集団回収を促進するため、集団資源回収コンテストや講習会などを実施しているところで、

今後、ゴミ対策は、さらに重要になってくると思われる。そこで、ゴミ処理や資源化の方策などを検討するため研究チームを発足させ、約二年間を目的に検討を進めていきたいと考えています。

環境局長 子供の成長段階に応じて環境教育を行うことは大変重要で、

これまでも、教育委員会と連携をとり、副読本の作成や公害・環境教室の実施など小学生を対象に多彩な取り組みを実施しています。平成三年度には環境教育基本方針を策定するなど、さらに環境教育の充実に向けて取り組んでいます。

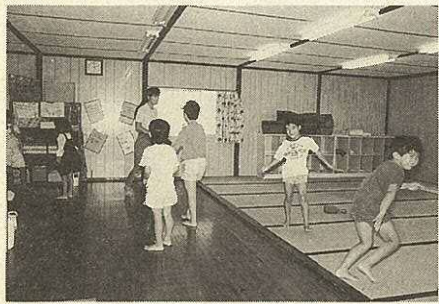
サンス構想に基づき、学園都市の整備や大学等の誘致、また新北九州空港建設を核とした周辺地域の整備や企業誘致などに積極的に取り組んでいきます。今後、これらの諸施策を着実に推進していきたいと思っております。

学童保育の充実を

議員 国は、児童育成クラブを改組、充実させ、クラブ数や対象児童数を拡大する計画を進めています。

そこで、本市も早急に対応していく必要があると思いがいかですか。

民生局長 本市では、すべての児童館において学童保育を実施するとともに、地域委託方式による保育クラブを設置、運営しているところで、



され、また、地域委託方式の場合、地元において土地・建物準備することを原則としているため、増設が難しい等の問題があります。

今後、女性の社会進出の増加に伴い、学童保育の需要はさらに増大し、その果たす役割も重要となってきます。

そこで、厚生省は、来年度に向け、これまでの児童育成クラブ事業を充実するため、補助の内容や対象クラブ数を拡充するとともに放課後児童対策事業を実施する計画を進めています。

このような状況を踏まえ、どのような方式が最もふさわしいのか、今後基本的に検討していきたいと思っております。

女性行政の 取り組みは

議員 昨年十月にスタートしたふるさと創生事業「アジア女性交流・研究フォーラム」

は、国際的視点から女性問題を考える先駆的な事業で、国

日本電装の 誘致実現を

議員 トヨタ自動車関連

町進出に伴い、去る八月、関連企業である日本電装の本市への進出が報道されました。本市は、この誘致実現のため、全力をあげる必要があります。



基づいて積極的に取り組んでいくことにしています。

また、この事業を推進するため、この十月に常設機関として任意団体を発足(※十月二十日)させ、将来的には財団法人化を目指したいと考えています。

市民局長 元年度の主な事業として、ふるさと創生展への参加、女性団体を中心としたイベントや本年三月のアジア国際シンポジウムの開催などがあげられます。

元年度に実施した事業とその成果、さらに今後の取り組みについてお尋ねします。

また、ルネッサンス構想には、女性団体の交流や相談、情報・サービスの提供等の機能をもつ(仮称「総合女性センター」)の設置構想が示されていますが、その進捗状況は

どのようになっていますか。市長 アジア女性交流・研究フォーラムについては、今年七月に策定した基本構想に

そこで、本市のこれまでの対応と今後の取り組みについてお尋ねします。

市長 日本電装は、カーエレクトロニクスの分野で日本を代表するメーカーであり、本市への立地は、活性化に大変大きなインパクトを与えるものです。

そこで、先方の幹部に会う

今後、この提言を参考に十分検討して基本構想を策定し、できるだけ早く総合女性センター設置を実現したいと考えています。

この結果、現段階では、本市への進出の意向はほぼ決まったと受けとめており、順調にいくと年内にも正式な調印ができると思っています。

なお、従業員の住宅についても、併せて誘致したいと考えています。

西部地域に

周望学舎を

議員 本市は、高齢者対策としてさまざまな施策を実施しています。高齢者の生きがい対策として、市はどのような施策を考えていますか。

また、今後、周望学舎の入学者希望者はさらに増加することが予想されます。周望学舎を市の西部地域に設置してはいかがですか。

市長 すべての年長者が健康で安心し、その能力を生かして生き生きと暮らせるような社会を目標に高齢化対策に一層力を入れて取り組んでいく考えです。

このため、年長者が抱えている、健康の保持・増進を図りたい、能力が許すかぎり働きたい、知識や経験を生かして地域活動に参加したい等の二

藍島・馬島の

振興策は

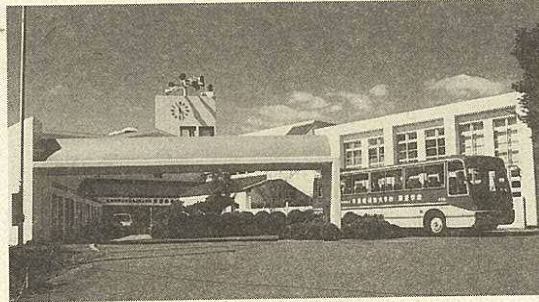
議員 今年九月、市長は初めて藍島、馬島を訪れ、島民の代表者と島の振興計画について話し合われたと聞いています。

そこで、水道問題など離島対策については今後とも力を入れていただきたいと思えます。市長の考えをお聞かせ下

しズを踏まえた生きがい対策を総合的に推進していく考えです。

なお、周望学舎は、大変好評で、今後受護希望者はさらに増加すると見込まれます。

そこで、西部地域にも周望学舎を設置することを検討する時期にきていると考えています。



新空港建設と 現空港再開の見通しは

議員 運輸省は来年度の概算要求で、新北九州空港建設のための実施設計調査費を計上しました。これにより、新空港建設への最大の難関を突破したと考えていいのですか。

また、現在進められている漁業補償交渉の進捗状況や空港アクセス整備など今後の見通しについてお尋ねします。

なお、来年に予定されている現空港再開における東京便の確保や就航時刻はどのようになっているのですか。

市長 運輸省が新北九州空港建設のための実施設計調査費を計上したことにより、非常に明るい展望が開けたと思っております。

今後、新空港建設を政府の決定とし、さらに、事業実施のための具体的な計画が決定される必要があると考えています。

企画局長 新空港建設のための漁業補償交渉については、現在、補償金算定の基礎となる漁獲量等の調査を進めており、この調査の後、本格的な漁業補償交渉に入る予定です。

また、新空港へのアクセス整備については、九月に結成した運輸省第四港湾建設局、福岡県、北九州市及び苅田町の四者連絡協議のなかで検討

を進めたいと考えています。

なお、新空港建設の具体的なスケジュールは、今後、平成三年度予算編成のなかで明らかになってくると思います。

一方、現空港の東京便については、最低二便を確保するため全力を尽くす考えです。また就航時間帯についても、東京便の決定を待って、需要の多い時間帯の確保に向けて、運輸省や就航希望の航空会社と協議したいと思っています。

刑務所の移転を 要望しては

議員 北九州大学の近くには二つの刑務所が所在しています。

周辺地域の整備を図るうえからも、刑務所の移転を国に陳情してはいかがですか。

市長 小倉刑務所については、昭和三十八年から四十八年にかけて施設整備を行ったことから、移転は困難であるとの法務省の回答を得ており、現状では、移転は極めて困難と考えています。

また、城野医療刑務所については、法務省に再三折衝の結果、移転は困難であるというこれまでの姿勢から、最近必ずしも現地建て替えにこだわらないという見解が示されるようになりました。

今後これを糸口に、まちづくりの観点から、具体的に詰めていければと思っております。

新空港・都市交通 基盤整備特別委員会

この委員会は、十一人の委員で構成され、次のような活動に取り組んでいます。

まず、新北九州空港の建設促進のため、空港の位置、新門司沖土砂処分場の早期建設、アクセス整備等建設に係る課題について調査研究を行っています。

また、小倉都心部の一方通行や路面電車問題など都心・副都心の交通対策、モ



ノレール、都市高速道路、幹線道路など基幹交通網の整備について、調査研究に取り組んでいます。

委員会 すぼい



国際都市推進 特別委員会

この委員会は、十一人の委員で構成され、調査研究内容は次のとおりです。

まず、本市が国際交流を進めていくための基盤整備や姉妹・友好都市との交流推進、国際的イベントの誘致等について、調査研究に取り組んでいます。

また、ルネッサンス構想の都市像に掲げる、未来をひらくアジアの学術・研究都市の実現に向け、国際東アジア研究センターや学術・研究都市構想についての研究や調査を行っているところとす。



決算特別委員会の審査から



9月18日に設置された平成元年度決算特別委員会は、三つの分科会に分かれて、審査を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。

区役所窓口の改善を

委員 最近、区役所は、住民票や戸籍謄本の交付申請者が増加していることから大変混雑しています。

今後、さらに市民サービスを向上させるため、窓口業務にあたる職員が斬新なユニフォームでこやかに応対してほしいと思います。

区役所の窓口案内について市の考えをお尋ねします。

当局 区役所では、市民が親しみやすく来庁者がよくわかるよう、総合案内窓口の設置を進めています。

また、職員の服装を統一しイメージアップにも努めています。

今後とも、案内係を含めた区役所窓口業務の改善を図り親切で丁寧な区役所づくりを推進していく考えです。

医療費の抑制を

▼国民健康保険▲

委員 本市の国民健康保険における一人当たりの医療費は、指定都市の中でも二番目に高くなっています。

医療費を抑制するため、市はどのように考えていますか。

当局 本市の国民健康保険は、高齢者の加入率が非常に高く、受診率や一件当たりの

診療日数が全国平均を大きく上回っていることなどから、医療費が高くなっていると考えています。

そこで、本市は、医療費適正化のため、安定化計画に基づいて診療報酬細書点検の充実や努めるとともに、成人病予防健診、訪問保健指導、健康教育等を実施しています。

今後とも、これらの施策を積み重ね、医療費の適正化に努めていく考えです。

障害者スポーツの振興を

委員 全国身体障害者スポーツ大会が本市で開催されるのを契機にして、北九州市障害者スポーツ協会が設立されました。

身体障害者の福祉向上とスポーツ振興は、今後の重要な課題だと思います。市は、この協会の運営について、どのように考えていますか。

当局 障害者スポーツ協会が設立されたことは、大変素晴らしいことと思っています。この協会がスポーツ大会の趣旨を生かし、さらに発展していくよう、協会の振興に今後とも力を入れていきたいと考えています。

来年五月にオープン

▼総合基幹病院▲

委員 小倉病院敷地内に、総合基幹病院の建設が進められています。

そこで、総合基幹病院のオープン時期、また、患者サービス向上のための取り組みについてお尋ねします。

当局 総合基幹病院の建設は順調に進んでおり、来年五月上旬に開院式を実施し、外来診療を開始することになっています。

また、この病院では、患者の待ち時間を短縮するためコ

ンピューターを導入し、磁気カード方式による自動受付の実施や受付からカルテの取り出し・搬送までの一連の業務をシステム化するとともに、検査のスピードアップを図ることになっています。

さらに、大型電光投葉表示板の設置やエスケーター、英文案内表示、病院入口まで点字ブロックを設けるなど、総合的な患者サービスの向上に努める考えです。

廃棄物処理に対する指導は

委員 先日の本会議において、新日鉄が響灘の自社処分場に有害なアスベストを放置していたとの指摘がありましたが、市は、どのような指導を行ったのですか。

また、その後の状況についても併せてお尋ねします。

当局 アスベストの処理は環境庁、厚生省通知に基づいて行うことになっています。今回の埋立処分は、アスベストの包みの一部破れたり、開封状態になっていたため、通知に基づいて適正に処理するよう指導しました。

その後、調査を行った結果、アスベストが適正に処理されているのを確認しました。

今後とも、産業廃棄物が適正に処理されるように、万全を期していきたいと考えています。

黒崎バイパスのルート、ランプの位置は

委員 建設省は、来年度の概算要求において、国道三号黒崎バイパスの建設を盛り込みました。

このバイパスは、建設省直轄の自動車専用道路として整備が予定されていることから、有料道路になるのではとの声もありますが、通行料無料化に対する市の考えをお聞かせください。

また、このバイパスのルートやランプの位置は、どのようになるのですか。

当局 黒崎バイパスについては、建設省等から、有料道路としての建設を強く求めら

黒崎副都心の将来構想は

委員 黒崎地区には、数多くのグループの間で、さまざまな再開発構想の研究が進められています。

これらのグループを指導助言し、黒崎地区の再開発を促進するために、市は、この地区の将来構想に対する方向づけを明確に示すことが必要だと思えますが、どのように考えているのかお尋ねします。

当局 黒崎副都心の将来構想については、その根幹となる黒崎バイパスの計画の見通

れてきましたが、このたび、無料で通行できる、延長七・二km、高架の自動車専用道路としての計画をみるに至りました。

このバイパス建設をぜひ実現させたいと思っています。なお、今後、地元説明会や縦覧等の手続きを行い、十一月下旬に予定されている県都市計画審議会に諮りたいと考えています。

また、バイパスのルートは、鹿児島本線の北側を通る自動車専用道路です。一般道路との接続のため、八幡東区西本町付近、八幡西区藤田付近、筒井付近及び皇后崎付近の計四カ所にランプを設置し、バイパスの前後は国道と接続する計画です。

しが立つたことから、本格的に取り組む時期が来たと思っています。

この対象地区として、南はプリンスホテルの道路一帯、西は割子川岩屋線、東は陣山ぐらいの地域を考えています。開発構想を検討するために、まず、地域全体の計画が整うことが必要です。今後、いろいろな構想が出てくると思いますが、時間をかけ、構想を練り上げ、地域全体の調整を行い、副都心にふさわしい計画にしたいと思っています。

そのため、これから整備計画の策定の準備に着手したいと思えます。